

## 演題：部活動の地域移行とこれからの市民社会

### 講話の概要

令和 2 年 9 月、文部科学大臣は「学校の働き方改革」の一つの方策として「部活動」を地域に移行すると公にし、「学校部活動」と「地域部活動」と表現しました。令和 4 年 12 月、スポーツ庁と文化庁によりガイドラインが示され、本年度から中学校と地域の改革が始まりました。

「部活動」は、わが国特有の学校慣習であって、教育課程外に位置付きながら学習指導要領では課程内との関連が図られました。生徒の全員加入制や教師の全員顧問制という制度を生み、学校教育の一環として機能してきた歴史があります。自他理解に基づく人間関係形成や意欲の醸成などの有効性、一方で勝利至上主義や体罰・ハラスメントの課題、さらに問題行動対策や子守り状態との比喻表現など、従前の部活動の評価は重大な難問が残っています。このプラス面、マイナス面とも学校教育から地域に移すこととなれば、「新たな地域クラブ活動」としてのスポーツクラブや文化クラブ等の役割や活動に、どのようなことが期待されるのでしょうか。

近未来へ、Well-being として、とりわけ活動の主役である子ども達の成長や発達を私たちはどのように認識し、支えていくか。一緒に考える機会、30 分間としましょう。

### 講師プロフィール

中尾豊喜(大阪体育大学体育学部 教授) 昭和 33 年生まれ

兵庫教育大学大学院学校教育研究科 学校教育専攻生徒指導コース 修了

専門分野：学校教育学

著 書：『規則と生徒指導』関西学院大学出版会 2020 年刊、『こどものキャリア形成』幻冬舎ルネッサンス新社 2020 年刊・電子版  
2021 刊、『総合的な学習の時間・探究の時間と特別活動の方法』東洋館出版社 2020 年刊など

雑誌掲載：全日本中学校長会編『中学校』No.837(令和 5 年 6 月号)「部活動を前提にしない、新たな中学校の魅力づくり」pp12-15、ERP『教育 PRO』(2023/7/18)「大阪体育大学「運動部活動指導認定プログラム」の開発」pp.22-23.など

担当講義：課程内 3 年次→ 生徒・進路指導論、特別活動および総合的な学習の時間の指導法、保健体育教職特講、介護技術講義、スポーツ教育学演習 I。4 年次→ 教育実習 I、教職実践演習、スポーツ教育学演習 II。課程外→ 教員採用試験対策講座、グッドコーチ養成セミナー、運動部活動指導認定プログラム

社会貢献：スポーツ庁「運動部活動改革プラン」事業受託プロジェクトリーダー(2019～2020 年度)、大阪府における部活動の地域移行に関する検討会議座長(2023 年度～)、他に研修会講師、第三者委員、学校評価委員、学校評議議員など

メディア：2020 年→ 日本経済新聞大阪版「部活指導と体罰、根絶への道遠く 対処療法の効果に疑問」(12/28 朝刊)。2021 年→ 読売新聞大阪版「広がる「部活動指導員」」(3/8 夕刊)。2022 年→ 朝日新聞全国版「部活強制 生徒の意思は」(4/9 朝刊)、日本経済新聞大阪版「大阪体育大 グッドコーチ養成セミナー 部活動 正しい知識で指導」(3/15 朝刊)。2023 年→ NHK 総合「おはよう日本」「おはよう関西」(1/11)、読売新聞全国版「指導者不足 学生が救う 一大体大が中学部活派遣」(1/25 朝刊)、NHK 総合「おはよう日本」(5/1)、朝日新聞大阪版「学生コーチアプリで部活お助け 一大体大、ソフトバンクと ICT で連携」(8/21 朝刊)、日本経済新聞全国版「部活指導に社会人呼び込め」(9/25 朝刊)、NHK 総合「おはよう関西」(10/4)・「ほっと関西」(10/11)など



大阪体育大学